

静岡県とイオンとの連携に関する包括提携協定について

静岡県とイオンは、提携発行する電子マネー「しずおか富士山WAON」を活用した商業・観光振興や、地域の安全・安心の確保、県産品の販売促進、食育、子育て支援、富士山静岡空港の利活用促進など、様々な分野において、相互に密接な連携と協力をすることにより、一層の地域の活性化と県民サービスの向上を図るため、包括提携協定を締結することとなりましたのでお知らせいたします。

なお、イオンと都道府県が包括提携協定を締結するのは、大阪府、山形県、三重県、宮城県、岐阜県、島根県に続き全国7例目で、都道府県単位で独自デザインのWAONカードを提携発行するのは、大阪府、三重県、岐阜県に続き全国4例目となります。

1 協定の名称

「静岡県とイオン株式会社との連携に関する包括提携協定」

2 協定の目的

静岡県とイオンが相互に密接な連携と協力をすることにより、双方の資源を有効に活用した協働による活動を推進し、地域の諸課題に迅速かつ的確に対応し、一層の地域の活性化及び県民サービスの向上に資することを目的とする。

3 連携事項

- (1) ICカード等の活用に関すること
- (2) 地域の安全・安心の確保、災害時の支援に関すること
- (3) 県政情報の発信に関すること
- (4) 観光や県産品の情報発信、地産地消の推進に関すること
- (5) 健康増進及び食育に関すること
- (6) 子育て支援及び青少年の健全育成に関すること
- (7) 高齢者や障害のある人の支援に関すること
- (8) 環境対策に関すること
- (9) 富士山静岡空港の利活用促進・PRに関すること
- (10) その他、地域の活性化及び県民サービスの向上に関すること

4 「しずおか富士山WAON」の概要

全国の加盟店で利用可能な電子マネー「しずおか富士山WAON」カードを発行。利用金額の0.1%が毎年、「静岡県地球環境保全等に関する基金」に寄付され、富士山の環境保全と適正な利用の調和のための事業に充当。

■発行開始日：平成22年12月14日(火)

■販売場所：静岡・愛知・岐阜・三重・石川・富山県内のジャスコ約70店舗、静岡・愛知・神奈川県内のマックスバリュ東海の85店舗、合計155店舗で販売開始し順次拡大予定

■販売目標：初年度5万枚

■発行手数料：1枚300円(税込み)

「しずおか富士山WAON」カードデザイン



【表面：三保の松原から仰ぎ見る富士山】

【裏面：四季折々の富士山】

「WAON」とは

○イオンが平成19年4月から行っている電子マネーサービスで、店舗での会計時の購入金額200円ごとに1ポイント(1円相当)が付与される。

○昨年度の決算総額は、約5,500億円(電子マネー市場全体の約45%のシェアで第1位)。

WAONをメイン電子マネーとするユーザーの約7割が女性となっている。

※「WAON」の発行枚数等(平成22年10月末現在)

- ・累計発行枚数：約1,670万枚
- ・月間利用件数：約4,150万件
- ・月間利用単価：約1,740円
- ・利用可能箇所：約94,500箇所(自販機、ドライバー端末約46,000箇所含む)

※電子マネーの全体の発行枚数は、平成22年度4月現在、1億3千万枚を超え、平成21年度の決算総額は1兆2,500億円となっている。

○現在、全18種類の地域独自デザインの電子マネーカード(WAONカード)が発行されている。このうち、利用金額の一部が地域に寄付されるものは11種類。